



## 夏に多い子どもの皮膚トラブル

夏は子どもたちにとって海やプールでの水遊び、山への虫捕りなど楽しみなことがいっぱいあります。しかし一方で、夏は肌を露出させるので、外界からの刺激を受けやすく、皮膚のトラブルの多い時期でもあります。また子どもたちは代謝が活発で、汗をかきやすく皮膚がデリケートです。

皮膚トラブルとその対策についてご紹介します。

### <あせも>

あせもは放っておくと炎症を起こして赤くなり、かゆみが出てきます。通気性・吸水性のよい衣類を着せ、エアコンを上手に利用しましょう。汗をかいたときには、シャワーや濡れたタオルで拭くなどして清潔を心がけましょう。

### <虫刺されととびひ>

幼児が蚊やダニなどの虫に刺されると、腫れやすく完治に時間がかかります。また、かゆがってかき壊すと、とびひなどの二次感染を起こします。とびひとは、細菌が皮膚に感染して水ぶくれやかかさぶたができ、それが“飛び火(とびひ)”のように体のあちこちに、次々と広がってゆく病気です。予防のために爪は短く切り、かゆみがひどいときには冷やしてあげるとよいでしょう。外出の際は、虫よけスプレーなどを上手に使いましょう。

### <水いぼ>

水いぼはウイルスによってできる小さい水疱状のいぼです。水疱が破れると、中のウイルスが広がって新たな水いぼを作ります。全身に広がって化膿したり、他の人にうつすといったことがあるため、数が少ないうちに皮膚科に相談しましょう。毎日のスキンケアを大切に、家庭で予防できることから心がけていきましょう。



## 「子どもの熱中症」

川口市立医療センター  
新生児集中治療科

医師 石黒 利佳



熱中症の報道が増えています。気温が高いときだけでなく、湿度が高いときも熱を消散しにくくなるため注意が必要です。日陰や室内など陽が当たらない場所でも起こることもあり、予防が最も大切になります。

乳幼児では体表面積が大きく外気温の影響を受けやすいため、厚着は避けましょう。また窓を閉めた車の中は短時間でも高温になるため、車内に子どもだけ残さないようにしましょう。アスファルトの照り返しでは子どもは身長が低く、ベビーカーなどに乗っていても大人より高い温度にさらされることもあります。

年長児は急激な運動は避け、徐々に運動量を増加させるようにすること、のどが乾かなくても運動開始前・運動中・運動後も水分を十分補給することが大切です。寝不足など体調が悪いときは熱中症の危険性が高くなります。

熱中症が疑われるときにはまず、日陰で衣服を緩め安静にし、スポーツドリンクなど塩分のあるもので水分を補給します。

体温上昇があるときは首・太ももの付け根・脇の下などを冷やし、かかりつけなど医療機関に相談しましょう。頭痛や嘔吐などほかの症状を伴うこともあり注意が必要です。

汗をかかず高熱のときは、冷やしながら早めに病院を受診しましょう。意識状態が悪いときは救急車を呼んでください。大人が子どもの変化に注意し、子どもたちを守りましょう。



## 千羽鶴に乗せる平和への思い

エコ・ピースくらぶ  
堀和光二朗さん(実行出羽4)

毎年8月6日、平和への願いを込めた千羽鶴を、広島平和記念公園の「原爆の子の像」に届けて、今年で8年になる。

きっかけは、吉永小百合さんの原爆詩の朗読。「その中の『折る』という詩に心を打たれ、この活動を始めました」と振り返る。初めの年は4千羽。今では1万羽以上の折り鶴を届ける。「みんなが折ってくれた鶴なので必ず届けますよ」と話しながら、手にした折り鶴一つ一つを丁寧に糸に通していく。

建材加工会社を経営していたが、時代の流れで廃業を余儀なくされた。「すべてを失ったが、まだできることがある」と、いまは自らを「愚者」と名乗り、整体師やヘルパーの仕事しながら、盛人式のスタッフ、環境や学生支援ボランティアなどを行う。

活動拠点は、キューポラにあるかわぐち市民パトナーステーション。その入口には、折り紙と回収箱が設けられ、いつでも鶴を折れる。持ち込みも大歓迎だ。5年前からは、病院や施設のお年寄りや障害のあるかたと、折り鶴をとお

して交流する。「みんなが平和への願いを込めて折った鶴に糸を通してできあがった千羽鶴は、相手にみんなの思いが一つになって届き、心を癒してくれそうです」とほほ笑む。

東日本大震災では、被災地へ救援物資と一緒に千羽鶴も届けた。「行く先々で感謝され、逆に勇気づけられました」。つらい生活を強いられているのに、被災地の人も鶴を折ってくれた。今回の広島への思いは特別だ。震災による原発事故は広島島の悲劇と重なり「平和とは何か」をみんなが真剣に考えるときだという。

「誰かが誰かのために鶴を折るように、平和な気持ちをおすぞ分けてくれるって素敵だなど。こういう気持ちがあれば」と話す千羽鶴に乗せる平和への思いは、必ず未来にもつながっていくはずだ。(卓)



活動拠点は、キューポラにあるかわぐち市民パトナーステーション。その入口には、折り紙と回収箱が設けられ、いつでも鶴を折れる。持ち込みも大歓迎だ。5年前からは、病院や施設のお年寄りや障害のあるかたと、折り鶴をとお

## 文芸

### 短歌

金子富美子 選

ありし日に従兄のくれしスピーカー音は鳴らずも押入れにあり 上青木 3 益岡 勇

里山のどの径とるも青すすき仰げば父母の塚に舞う蝶 東本郷 吉浦 雪子

わが夫に見せたかったな合格の免状そつと仏壇に供ふ 川口 6 手塚美津子

### 俳句

山崎 十生 選

向日葵やその明るさを被災地に

新堀 浜田 輝子

十一面観音に会う春の旅

安行領根岸 小林 茂

母さんはずうっと水色夏逢

上青木西 2 大滝 徳美

パソコンのマウス不機嫌梅雨じり

東内野 角 泰造

影を連れ枯山水に梅雨の蝶

南町 1 野本 貞義

### 川柳

新井 愁思 選

地上デジタル第二の文明開化かも

飯塚 2 川瀬伊津子

サービスと言う引き算に騙される

川口 1 松岡恵美子

節電は最早みんなの義務になり

東川口 2 星野 直康

お知らせ 合併に伴う情報量増加に紙面を対応させるため、9月号をもって本欄を休載します。今後は年に一度「特集ページ」に掲載する予定です。

投稿されるかたへ はかきに〒・住所・氏名・電話番号・部門を明記の上、1人1首(句)以内を8月31日までにご応募ください。漢字にはふりがなを。

投稿は1人1枚1部門のみとし、重複投稿はすべて無効。作品は添削することがあります。